

WINTER ART GARDEN

環境造景展 冬のアートガーデン 2016.12.10(土) - 2017.2.19(日)

毎週水曜日、年末年始(12.29-1.3)休館

インスタレーション 渡辺 秀亮

ライトガーデン ワークショップ作品展示 + 光の演出

会場 アートハウスおやべ(オープンギャラリー + アートガーデン)

主催 アートハウスおやべ

共催 公益財団法人クロスランドおやべ

後援 小矢部市教育委員会 小矢部市芸術文化連盟

北日本新聞社 富山新聞社 読売新聞北陸支社 北陸中日新聞

 アートハウス おやべ

環境造景展 冬のアートガーデン

アートハウスおやべの建物周辺で環境造景展 2016-17 冬のアートガーデンを開催します。野外に設置されたインスタレーション作品は、光や雨や雪など環境の変化と共にその様相が移り変わります。その姿を写真・映像で記録し、情報コーナーで紹介します。あわせて、ライトガーデンでは子どもたちや市民参加による作品を展示し、光の演出をおこないます。多彩な冬のアートガーデンの姿をお楽しみください。

わたなべ ひであき
インスタレーション 渡辺 秀亮 (彫刻家・金沢市在住)

「によろ山水」

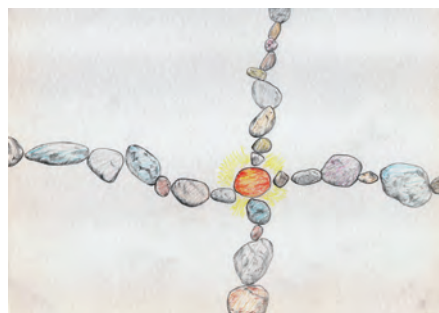
大自然が作り出した「石」という素材には、模様、色、重さ、どれひとつとして同じものはない。その石の一つひとつの個性や表情を眺め、削り、磨きながら、それぞれの石に合った形を見つけだそうとしている。そうして生み出された「によろ」たちが集い、相互に作用しながら、生命の源である水や川の流れ、そして風土をイメージした姿を現し、小矢部の自然石を取り込んだ空間を作りだす。物質としての石が持つ特性に忠実に従いながら、手の痕跡を加え、石との対話によって紡がれた世界が広がっていく。



《によろ山水》 2013 「spin stones」展

「交差する時」

雄大な自然に囲まれたこの土地で、厳しくもあるが恵みの水をもたらす小矢部川が運んだ「石」を使い、人と人、歴史と文化、交通の要所として息づいている小矢部の姿を表現した。「石」を集め、並べるという行為は、古代から続く人間が持つ本質的な部分に触れる行為であり、現代に残る石碑や道祖神につながっていくものであろう。このようなイメージを持つ、交点にある石がやわらかく光り、風雪のなかで息づいていく姿を、ゆっくりと見守ってきたい。



イメージドローイング

経歴

- 1972年 新潟県新潟市生まれ
- 1996年 金沢美術工芸大学 美術学科 彫刻専攻卒業 (卒業制作金沢市買い上げ)
- 1999年 金沢美術工芸大学大学院 美術工芸研究科修了 (修了制作金沢市買い上げ)、公募展優秀者 奨励賞
- 2002年 第6回新潟県彫刻会公募展 最高賞新潟県彫刻会賞 (新潟市美術館) ('01、'03 新潟県知事賞)
- 2003年 第59回現代美術展 最高賞石川県知事賞 (石川県立美術館) ('94・'96 佳作、'97・'99 北國賞、'07 委嘱賞)
- 2006年 ネパール・日本 "HARMONY" 彫刻シンポジウム 2006 (ネパール カトマンズ市)
- 2009年 Open ART 2009 (スウェーデン オレブロ市)
- 2011年 21 SPIRITS OF KANAZAWA (アメリカ ニューヨーク市 NY Coo Gallery)
- 2013年 彫刻のコスモロジー / The Cosmology of Sculpture (金沢市ラブリック町 金沢美術工芸大学アートギャラリー)
- 2015年 第10回大黒屋現代アート公募展 (栃木県那須塩原市 板室温泉 大黒屋)

ライトガーデン ワークショップ (カラーコーンに描こう) の作品展示 + 光の演出

